

史上最多アカデミー賞®11部門受賞!
40年の歳月を経て今甦る20世紀の最高傑作



© 1959 METRO-GOLDWYN-MAYER
© 1995 WARNER BROS. PICTURES
ALL RIGHTS RESERVED



WILLIAM WYLER'S
PRESENTATION OF

ベン・Hur

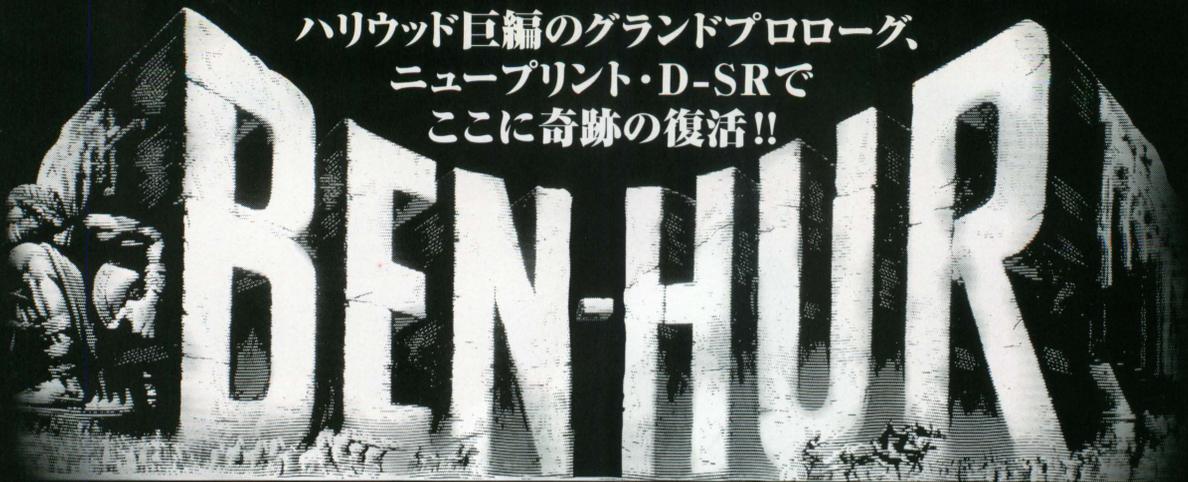
FROM METRO-GOLDWYN-MAYER
DIRECTED BY WILLIAM WYLER "BEN-HUR"
STARRING CHARLTON HESTON JACK HAWKING
HAYA HARAREET STEPHEN BOYD HUGH GRIFFITH MARTHA SCOTT
WITH CATHY O'DONNELL SAM JAFFE
SCREENPLAY BY KARL TUNBERG PRODUCED BY SAM ZIMBALIST

配給：ワーナー・ブラザース映画

WARNER BROS. PICTURES
AN ALL TIME WARNER COMPANY
© 1995 WARNER BROS. PICTURES
ALL RIGHTS RESERVED



ハリウッド巨編のグランドプロローグ、
 ニュープリント・D-SRで
 ここに奇跡の復活!!



大型映画時代を迎えた1953年、MGMはテレビでは絶対に作れない、巨大プロジェクト「ベン・ハー」の映画化に社運を賭けた。プロデューサーにサム・ジンバリストを指名し、彼は完全主義者の仲間ウィリアム・ワイラー監督に声をかけ、超一流のスタッフを揃えた。キャストにはベン・ハー役として、「十戒」でモーゼを演じたチャールトン・ヘストン。この作品でオスカーを受賞した彼は大型映画には欠かせない存在になる。メッサラ役を演じたのは本作が出世作となる、英国の俳優ステイヴン・ボイド。相手役はイスラエルの美人女優ハイヤ・ハラリート。そして、ここに製作費1500万ドル(当時のレートで54億円)、上映時間222分(戦後の外国映画では当時最長)、アカデミー賞史上最多11部門受賞というそれまでの映画が到達できなかった巨大なスケールの作品を実現した。「ベン・ハー」がなかったら、今日のMGM/UAは存在しなかったかもしれない。

「ベン・ハー」の撮影は人件費と物価の関係でローマに本拠を置き、準備に2年、撮影に正味1年を費やした。メイキングだけで1冊の本ができたほど、気が遠くなる数字が並ぶ。撮影されたフィルムは全長380キロは東京=名古屋間の距離に相当し、映写すると丸8日かかる。厳しい時代考証のもとに1万枚のスケッチから作ったセットの数は300、コスチュームは万単位、すべての物量がものすごい。

クライマックスのひとつ、戦車競争の競技場は映画史上最大、東京ドームの2倍強の敷地に1年半がかりで建設された。戦車9台が砂煙を蹴立てて高速で疾走する。スタートからゴールインまで192ショット8分41秒、その撮影だけで3か月半をかけた。映画史上最高のアクション演出と編集としてニューヨークの近代美術館に保存され、のちのカー・チェイス映画のルーツになっている。

1959年/アメリカ/222分/シネマスコープ/D-SR/カラー ©1959 Turner Entertainment Co, an AOL Time Warner Company.

テアトル東京 CLASSICS
 クラシック

テアトル東京は昭和30年(1955年)11月1日、マリリン・モンローの「七年目の浮気」からその幕を明けた。

以来、昭和56年(1981年)10月31日にマイケル・チミノ監督「天国の門」で幕を閉じるまで26年間、「ベン・ハー」、「2001年宇宙の旅」、「ゴッドファーザー」、「スター・ウォーズ」等、数々の名作、大作を上映し続けた大劇場だった。

テアトル東京といえばなんといってもシネラマの巨大スクリーン。1500本のリボンを使用した横28メートル、たて8.7メートルもある地続きのスクリーンは多くの映画ファンを魅了し、今なお語り継がれる伝説の映画館である。

テアトル東京閉館後現在は、演劇を中心とした劇場ル テアトル銀座がその跡地に作られている。

今回の「ベン・ハー」は「2001年宇宙の旅」に続く「テアトル東京クラシック」第2弾としてル テアトル銀座にて期間限定で特別公開される。「ベン・ハー」はテアトル東京で昭和35年4月1日から15ヶ月以上のロングランを記録。入場者数は953,334人、興行収入は316,397,400円の大記録を打ちたてたまさにテアトル東京の記念碑的作品である。



◆昭和35年3月30日、チャールトン・ヘストンが昭和天皇・香淳皇后をお出迎え



各界著名人の方からの『ベン・ハー』への熱いメッセージ

- ◆こんな壮大な愛の物語りを若いときに見た私は幸せだった。スクリーンに、興奮したみんなが拍手した事も忘れられない！私は、この映画が大好きだ。
 — 黒柳徹子 (女優・ユニセフ親善大使)
- ◆映画の遠近法を華麗に展開した巨大な演出家ウィリアム・ワイラーの魔術。
 — 新藤兼人 (映画監督)
- ◆まさに去年の一番好きな映画『グラディエーター』の原点と思った。長いのに飽きさせない、友情・恋愛・家族愛・チャリオットレースのアクションシーンと、あらゆる要素の詰まったストーリー展開は凄い！
 — ケイン・コスギ (俳優)
- ◆感動に震えつつ『ベン・ハー』を観たのは18歳の春。でも実は何も判っていなかったんだ、ということが今回、40年ぶりに判明したのだ。ショック！
 — 石川次郎 (編集者)
- ◆『ベン・ハー』は全世界を通じ最も偉大なハリウッド・スペクタクルのひとつである。内容豊かなストーリーや今日最高のどのフィルムにも優る衝撃的なアクションシーン、そして2000年前の神話に息吹を与えたその手法を見れば一目瞭然なのだ。
 — グレゴリー・スター (プレミアム日本版編集長)
- ◆19歳 この感動を詰将棋に表したいと思いつけて40有余年。この程やっと完成した。キリストの登場、疾走する戦車競技のシーンは今も脳裏に焼きついている。ビデオではなく、映画の大きなスクリーンでもう一度観たいものだ。
 — 内藤國雄 (将棋九段)
- ◆デジタルに頼る事なく圧倒的物量で作上げた筋肉映画のモニュメント。ホンモノが織り成すホンキのエネルギーに圧倒されっぱなし。
 — 樋口真嗣 (特技監督)

※敬称略、順不同

2002.1/19 sat - 2/23 sat

●上映期間中、地下一階ATTOREにて古代小麦を使った「ベン・ハー」スペシャルバスタ(¥1400税・送料)が登場！「ベン・ハー」チケット半券で10%割引あり。

「衣装作りました！」イベントコスチュームの店アルファ ビータが「ベン・ハー」の衣装を制作。チャールトン・ヘストンが演じたベン・ハーの衣装などは映画共々、必見！劇場や銀座界隈に登場予定

有楽町線・銀座一丁目駅/銀座線・京橋駅 徒歩1分
ル テアトル銀座
 03-5250-8003
 10:00 14:20 18:40 上映時間120分
 シネマボックスアドレス <http://www.cinemabox.com>

劇場案内図
 有楽町線 銀座一丁目駅 徒歩1分
 銀座線 京橋駅 徒歩1分
 劇場 1階
 観覧席 2階
 観覧席 3階
 観覧席 4階
 観覧席 5階
 観覧席 6階
 観覧席 7階
 観覧席 8階
 観覧席 9階
 観覧席 10階
 観覧席 11階
 観覧席 12階
 観覧席 13階
 観覧席 14階
 観覧席 15階
 観覧席 16階
 観覧席 17階
 観覧席 18階
 観覧席 19階
 観覧席 20階

テアトル東京クラシックを応援しています。

協賛:



新光証券